

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	外部の研修に参加していただく機会が作れていない。利用者様の低下に職員の技術や知識が未熟であり、不安を感じている職員もいる。新人職員に対し十分な指導期間も取れず、指導体制が不足している。	不安なく楽しく生き活きと働ける	高齢者の生活と疾患との関わりや生理的な衰え、認知症の周辺症状や身体介護技術についての研修の開催と外部研修への参加機会の確保をする。介護に悩んでいることや困っていることを気軽に相談し合える環境を作る。新人指導のマニュアル化と指導方法の統一を図っていく。	12ヶ月
2	26	家族によっては、関係が希薄であり意見や要望も「今のままで良い」「ホームで生活してくれていれば良い」と深く聞き取れないことがある。	家族参加型カンファレンスの実施。	ケアプランの重要性を理解していただけるように説明し理解を促していく。 面会が増えるような情報提供。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。